

2月23日 市内女子高生防犯活動 KCG30に感謝状贈呈

市内の女子高生 30 人で構成する防犯ボランティア団体・KCG30の卒業生 13 人に市防犯協会と菊池警察署が感謝状と記念品を贈りました。KCG30は、菊池高、菊池女子高、菊池農業高の生徒で平成 22 年に発足し振り込め詐欺の防犯活動やパレードなどに参加。菊池女高3年の谷山七海さんは「防犯活動で学んだことを忘れずこれからも頑張っていきたい」と話しました。



KCG30の皆さんと同協会長の江頭実市長(左)、國津剛菊池警察署長(右)

2月26日 菊池教育会「里仁賞」表彰式 児童生徒の善行をたたえて

菊池郡市の小中学生の善行をたたえる「里仁賞」の表彰式が菊池教育会館であり、市内から菊池北中と戸崎小の2団体が表彰されました。菊池北中1年生は清掃ボランティア活動とあいさつ運動。戸崎小4年生はホテル飼育とホテルが育つ井手づくりの活動を続けていることなどが評価されました。木原昭三会長は「多くの人を思いやる心を大切にこれからも活動を続けてほしい」と話しました。



受賞した皆さん

2月22日 ほたるいっぱいプロジェクト やったね! 戸崎小ホタルランジャー

日本一のホタル王国プロジェクト指定校の一つである戸崎小学校のホタル育成の取り組みが、環境庁主催の「こどもホタルランジャー」に選ばれ、発表内容が全国で2位となるベネッセ賞を受賞しました。

全国のホタルに関する取り組みを募集する企画で、全国46校の応募の中から選ばれた5校が事例を発表。同小4年生の地域とつながるユニークな取り組みが評価されました。



戸崎小児童と高柳ほたるを育てる会、地域おこし協力隊の一瀬萌子さん

2月24日 読み聞かせボランティア 前田和子さんとたんぽぽが表彰

県立図書館で表彰式が行われ、前田和子さん(しすいっ子童話会)が読書活動推進功労者表彰、泗水西小読み聞かせボランティア「たんぽぽ」が優良読書グループ表彰を受賞しました。前田さんは平成6年から20年の長きにわたり同会の代表を務めるなど読書普及活動や地域文化の発展に貢献。「たんぽぽ」は読書環境の醸成と地域文化の発展に貢献されています。



前田和子さん(前列左から2番目)と「しすいっ子童話会」、「たんぽぽ」の皆さん

3月2日・3日 菊池南中学校議会傍聴体験学習 市議会定例会を傍聴

3年生133人が社会科の授業で市議会定例会の一般質問を傍聴しました。この傍聴体験は公民的資質を育てることなどを目的に、ことし初めて実施。自分たちが住む地域社会への関心を高めました。

傍聴した生徒は「政治は難しいイメージがある。若い世代が興味のあることなどを積極的に取り上げてもらえるのもっと政治に関心をもつことができる」と話しました。



一般質問を傍聴しました

3月1日 読み聞かせボランティア ワンダーぶんこ「卒業生を送る会」

泗水東小学校で卒業生を送る会があり、読み聞かせボランティアグループ「ワンダーぶんこ」(内野さと恵会長)が卒業生に最後の読み聞かせを行いました。

同メンバーから「人に優しくできる中学生になってください。自分を大切に青春を楽しんでください」とエールが送られると、卒業生は「今日はとても感動しました。本当にありがとうございました」とお礼を述べました。



読み聞かせをする「ワンダーぶんこ」のメンバー



1.勢いよくスタートした選手たち 2.長さ6kmの横断幕 3.ユニークな衣装で出場するランナー 4.完走を目指すランナー 5.沿道から声援が送られました 6.菊高生がパフォーマンスを披露 7.甲冑姿で応援 8.大人気キャラクターきくくんも応援に駆けつけました

コース	部門	氏名	記録
ハーフ	男子(40才未満)	岡山春紀	1時間11分30秒
	男子(40歳以上)	池島篤史	1時間13分35秒
	女子の部	白土慶子	1時間28分58秒
10km	男子(40才未満)	倉田大吾	32分42秒
	男子(40歳以上)	岩木憲一	35分56秒
	女子の部	船田佳那	40分42秒
5km	男子(40才未満)	岩永浩明	16分13秒
	男子(40歳以上)	三木正昭	17分58秒
	女子(40歳未満)	入江和美	19分50秒
	女子(40歳以上)	渡邊由美	20分32秒
	中学生男子	浦川大樹	16分27秒
3km	中学生女子	山本夕海	19分09秒
	男子(60歳以上)	坂本興次	12分21秒
	女子(60歳以上)	堤美智子	15分26秒
	小学生男子1年~3年	松村至悠	12分02秒
	小学生男子4年~6年	吉浦悠	10分25秒
	小学生女子1年~3年	齋藤圓	14分54秒
小学生女子4年~6年	吉浦明希	11分38秒	

▲各部門の優勝者(敬称略)

豊かな自然と食を満喫 第61回 熊日菊池桜マラソン大会

約1300人が市内を快走 第61回熊日菊池桜マラソン大会は3月26日、菊池市民広場をメイン会場に開催され、約1300人が出場しました。大会はハーフ・10キロ・5キロ・3キロの4コース、18部門で実施。菊池地域振興局前をスタートし、各中継地点を折り返して菊池市民広場前のゴールを目指しました。沿道にはたくさんの観客が並び、風を切りながら走り抜けるランナーに拍手と声援を送られていました。選手の中には手作りの衣装をして走る人もいて、手を振ったり記念撮影をしたりしながら観客と一緒に大会を楽しんでいました。

食べ物とステージでもてなし

ゴール会場では、飲食店やフリーマーケットが軒を連ねる「菊池うまいもん市」を同時開催。各店に行列ができるほどの大盛況で、来場者は菊池の特産品や絶品料理に舌鼓を打ちながら買い物を楽しんでいました。特設ステージでは舞踊団「花童」の演舞、菊池小延寿太鼓、民謡(清龍会)、高校生の歌やダンスが披露され、会場を盛り上げました。

3月15日 道の駅泗水・養生市場
「春の道の駅弁当フェア」新作発表会

道の駅泗水・養生市場で販売する弁当の新作発表会があり、地元生産者など7グループが9種類の新作弁当を出品しました。健康志向の弁当や春らしい彩りで若い女性をターゲットにした弁当が並び、試食会では常連客から味や盛り付け、見栄えなどの意見を求めました。参加者は「地元の食材を使った手作り弁当なので安心して食べられる。値段もお手頃でおいしい」と笑顔を見せました。



試食会では色とりどりのオリジナル弁当がテーブルに並びました

3月18日 KDSが傘を寄贈
子どもたちを交通事故から守ろう

KDS 菊池自動車学校と熊本ドライビングスクールから、幼稚園や保育園を卒園する市内の子どもたちに「KDS ゆるや傘」が贈られました。雨天時は交通事故数が増えることから、子どもたちを守ることを目的に2年前から実施している活動です。KDS 代表取締役の永田佳子さんは「この傘を見ることで保護者やドライバーの皆さんに交通安全の意識を高めたい」と話しました。



江頭市長とKDS 代表取締役の永田佳子さん

3月18日 警察署長感謝状
人命救助の2人に感謝状贈呈

住宅火災で、人命救助に協力した岩崎雄也さん（岩平）と吉安亮さん（高野瀬）に、菊池警察署長から感謝状が贈られました。2人は火災現場の近くを通り、火事を発見。現場に駆けつけたところ、逃げ遅れた女性（92歳）が長屋にいることを知り、救助活動を行いました。國津剛署長は「2人の勇気ある行動で尊い人命が救われた。模範とすべき行動をたたえたい」と感謝を述べました。



④から國津剛署長、吉安亮さん、岩崎雄也さん、橋本良一副署長

3月14日・15日 菊池市モニターツアー
外国人が菊池の魅力を感じ

農家民泊や農業体験を楽しむモニターツアーがあり、日本在住の外国人7人が参加しました。地域資源の活用と外国人観光客誘致に向けた取り組みの一環として市が試験的に実施。初日は農作物の収穫体験や温泉を満喫し、夜は民家に宿泊。2日目は座禅や弓道体験を楽しみました。参加した外国人は「収穫体験と菊池渓谷が素晴らしい」「外国語の案内板が少ない」など感想を述べました。



聖護寺で座禅の組み方を学ぶ参加者。アメリカやイタリアなど7カ国から参加した

3月17日 東京五輪ボート競技キャンプ候補地
ノルウェー五輪委員が斑蛇口湖を視察

東京オリンピック・パラリンピック競技大会ボート競技のキャンプ候補地として、ノルウェーオリンピック委員会の2人が斑蛇口湖ボート場を視察しました。2人は県ボート協会の和田建一郎副会長や関係者の案内で同施設の艇庫などを見学したほか、ボートに乗ってコースを念入りに確認。天候や気温、水温、キャンプ時期となる夏のコンディションなどを質問していました。



斑蛇口湖ボート場のコースを視察するノルウェーオリンピック委員会の委員

3月18日 菊池女子高等学校
桜の回復を願って

菊池女子高校で昨年の台風で倒木した桜の回復を願う「お花見お茶会」が開かれ、地元住民など約20人が参加しました。毎年開催しているお茶会はことしで4回目。これまでは桜の木の下で行っていましたが、今回は雨天のため会場を校内ホールに移し、桜の回復を願いました。亭主を務めた宮崎紗帆さんは「少し緊張したが、気持ちを込めてお茶をたてました」と笑顔で話しました。



地元住民にお点前が披露されました

3月7日 特別叙勲
故伊牟田昭一さんに旭日単光章

昨年12月にお亡くなりになられた伊牟田昭一さん（上高江）が旭日単光章を受章され、江頭市長から妻の美佐子さんに伝達されました。伊牟田さんは昭和58年5月、地域住民に推され旧泗水町議会議員に初当選。以来4期16年にわたり在職し、経済建設常任委員委員長や議長などを歴任したほか、旧泗水町助役を務めるなど市政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献しました。



妻の伊牟田美佐子さん④と家族

3月12日 キクチノど真ん中百人会議
コタツに入ってまちの未来を語ろう!

菊池市の将来像をコタツに入って語り合う「キクチノど真ん中百人会議」が菊池市民広場であり、市内外から約100人が参加しました。主に市民有志でつくるまちおこし団体「キクチノ和」が企画。福岡テンジン大学学長の若永真一さんの基調講演を聞いた後、参加者は「廃校活用」「国際化」「祭り」などテーマごとに分かれてコタツに入り意見交換しました。



コタツに入ってまちの未来を語り合う参加者たち

3月13日 菊池公園再生プロジェクト
春の城山の日

菊池公園周辺の清掃作業を行うボランティアイベント「春の城山の日」が開催され、市内外から約200人が参加しました。桜の開花シーズンを控え、観光客にきれいな公園で花見を楽しんでもらおうと菊池さくら基金運営委員会が主催。菊池公園一帯のごみ拾い、手すりや看板の磨き掃除などを行いました。参加者は「観光客に気持ちよく花見を楽しんでもらいたい」と話しました。



市内外から大勢の人が参加しました

3月4日 地域づくり人材育成研修会
地域の課題をやねだんに学ぶ

3回目となる地域づくり人材育成研修会が迫間地区で行われ、地域住民など約30人が参加しました。研修会では「重味青空楽市に以前の活気を取り戻すには」をテーマに「出荷者を増やすこと」「イベントを行うこと」「楽市と公園の環境整備を行うこと」「広報宣伝活動を行うこと」など住民が考えた4つの案件について、それぞれの班に分かれてワークショップを行い、意見交換しました。



活発な意見が交わされました

3月8日 菊池少年自然の家企画事業
ひなまつりグラウンドゴルフ大会

菊池少年自然の家企画事業「第1回菊池わいふのひなまつりグラウンドゴルフ大会」が市営中央グラウンドであり、市内外から85人が参加しました。参加者は「みんなで楽しくゲームができた。またしたいです」と笑顔で話しました。上位の結果は次のとおりです。（敬称略）
 1位：中野照明
 2位：川嶋銀子
 3位：大橋祥人
 4位：渡辺小夜子
 5位：古谷善幸
 6位：衛藤栄子



笑顔でプレーしました

3月12日 花房あぜ道ウォーク
地域を巡って花房の歴史を学習

花房地区で「花房あぜ道ウォーク」があり、地域住民など約50人が参加しました。住民に地区のことをもっと知ってもらおうと、花房支館事業の一環として昨年実施しており、ことしで2回目。参加者は地区内を散策しながら「木柑子菅原神社」や「木柑子ニツ塚古墳と石人」など地域の名所を巡りました。参加者は「地元の知らない歴史をたくさん知ることができた」と話しました。



木柑子ニツ塚古墳と石人の説明を受ける参加者

4月5日 春の交通安全運動出発式 交通事故ゼロを目指して

4月6日から15日まで行われる「春の全国交通安全運動」に伴い、出発式が菊池市民広場で行われました。当日は、交通安全関係団体の関係者など多数参加。交通安全功労者などの表彰のほか、シートベルト着用推進委員に任命された「めぐるんジャー」と「ベルとら」へ委嘱状が交付されました。式典終了後は、市内全域で街頭啓発パレードを行い、市民に交通安全を呼び掛けました。



県警白バイ隊員による白バイ乗車体験

4月1日 きくちあいのリタクシー 七城地域の運行が始まりました

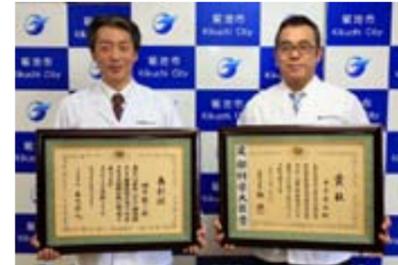
4月1日から七城地域できくちあいのリタクシーの運行が始まり、関係者など約50人が参加して運行開始式を行いました。あいのリタクシーは、バス路線などが無い公共交通空白地域の交通手段として導入しており、年間約1万1千人が利用しています。七城地域線は、月曜日から金曜日に自宅から市街地や七城総合支所などの目的地まで、事前の予約に応じて1日に3往復します。



あいのリタクシーに試乗した七城地域の住民

3月22日 厚生労働大臣表彰・文部科学大臣賞 市内ホテルの料理人が大臣表彰と大臣賞

菊池観光ホテルの緒方龍二料理長が調理業務功労者として厚生労働大臣表彰を受け、菊池グランドホテルの本多康弘料理長が全国日本料理コンクール郷土料理部門で文部科学大臣賞を受賞しました。緒方さんは地元小学校での食育の取り組みなど長年の地域貢献が評価されました。本多さんは地元の食材を使い独自のアレンジを加えた郷土料理が評価され、初出場で栄冠を手に入れました。



受賞した緒方龍二さん①と本多康弘さん②

3月21日 景観まちづくりシンポジウム 「癒しの里菊池」の景観を考える

七城公民館で景観まちづくりシンポジウムが開催され、市内外から約100人が参加しました。ステージでは「私がみつけた菊池の景観の〇と×」をテーマに、市民ワークショップ参加者5人がそれぞれ自分の好きな菊池の景観などを発表し、意見を交わしました。



鼎談する熊本大学田中尚人准教授③、江頭市長④、熊本県立大学柴田祐准教授⑤

4月8日 菊池川漁業協同組合 在来魚を守れ!漁協が稚アユを放流

菊池川漁業協同組合（江藤俊男組合長）が市内の河川で稚アユを放流しました。この放流は、菊池川、迫間川、合志川の本・支流に生息する魚を保護するための増殖事業として、同組合が毎年行っています。今回は約14万尾を市内33カ所で放流。稚アユの大きさは約6センチで、河口から上流へと上っていき、餌場の確保のため一定の縄張りをつくり成魚へと成長していきます。



七城町の中間育成施設から搬出用トラックにアユを移す組合員

4月8日 菊池渓谷山開き 癒やしのシーズン到来!

菊池渓谷のシーズン到来を告げる山開きが開催され、関係者など約100人が集まりシーズン中の安全を祈願しました。昨年は、国内外から約23万人の観光客が菊池渓谷を訪問。菊池渓谷を美しくする保護管理協議会の江頭美会長は「菊池渓谷は癒やしの里の源であり、豊かな農産物を生み出す命の源でもある。この豊かな自然を次の世代に残していきたい」とあいさつしました。



菊池渓谷の安全を祈願しておはらいが行われました

3月24日 NTTグループ 電話お願い手帳などを寄贈

NTTグループから「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」が本市に寄贈されました。この寄贈は昭和58年から実施されており、ことしで34年目。耳や言葉が不自由な人の日常生活が便利になるようにと贈られています。福祉課と各総合支所総務民生課、社会福祉協議会に置いてありますのでご活用ください。「電話お願い手帳」をお持ちの人を見かけたときはご協力をお願いします。



寄贈された「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」

3月24日 花房小卒業生を送る会 中学生になってもがんばってね

花房地区社会福祉協議会主催の「卒業生を送る会」が開催され、花房小学校を卒業した児童や地域住民など約50人が参加しました。この卒業生を送る会は校区内の児童と高齢者の交流を目的に、約20年前から行われており、ことしはグラウンドゴルフ大会と昼食会で交流を深めました。参加した児童は「楽しかった。中学校では勉強とスポーツを両立して頑張りたい」と話しました。



晴天の中、笑顔でプレーしました

4月14日 菊池北小児童がタケノコ堀体験 タケノコいっぱい掘ったよ!

菊池北小学校（桐嶋介校長）の4年生52人が、黒谷光臣さん（太田）所有の竹林でタケノコ掘りを体験しました。この体験は今回で18年目。児童たちは、黒谷さんほか地域の皆さんから掘り方の指導を受けタケノコ掘りに挑戦。タケノコを掘り当てると、重たそうに持ち上げて喜んでいました。タケノコ掘りは4回目と話す宇野木港太くんは「鍬を当てるのが難しかったけど、楽しかった」



地元住民の指導を受けながらタケノコを掘る児童

4月9日 七城町振興公社創立20周年記念式典 創立20周年記念式典

七城温泉リバーサイドパークで、七城町振興公社創立20周年記念式典が開催され、関係者など約50人が参加しました。式では功労者表彰があり、旧七城町長の緒方熒さんと前菊池市長の福村三男さんに表彰状が授与されました。同公社の服部英治会長は、「開設当初からいろいろな苦労があった。今後も地域の健康増進施設として、市民の皆さんと歩んでいきたい」と語りました。



多くの人々が参加して記念式典が行われました

3月24日 菊池小学校 長年の見守りに感謝 齋藤康子さんに感謝状

卒業や入学を迎える地域の子どもたちを応援するため自宅前に祝詞を掲げ続けてきた齋藤康子さん（中西寺）に、菊池小学校から感謝状が渡されました。齋藤さんが祝詞の掲示を始めたのは6年前。入学式や卒業式の時期になると自宅前に掲げています。感謝状を受け取った齋藤さんは「感謝の気持ちを忘れない優しい人に育ててください」と子どもたちに思いを語りました。



齋藤康子さん①と菊池小学校の児童たち

3月25日 全国林業研究グループコンクール 龍門林業研究グループが受賞

全国林業研究グループコンクールで龍門林業研究グループ（会員38人：緒方元一会長）が林野庁長官賞を受賞し、報告のため市役所を訪れました。このコンクールは全国の林業研究グループが活動体験や研究内容などの成果を発表するもので、同グループが九州代表で出場しました。緒方会長は「農林水産大臣賞をとれなくて残念。今後は自分たちの活動をビジネス化することも考えたい」



①から氷口勝之副会長、緒方会長、高木裕二さん